

2020年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社新東京グループ 上場取引所 東
 コード番号 6066 URL <http://www.mr-shintokyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 勝秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小野澤 歩 (TEL) 047(383)7001
 定時株主総会開催予定日 2020年8月28日 配当支払開始予定日 ー
 発行者情報提出予定日 2020年8月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期の連結業績 (2019年6月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期	3,182	△17.8	43	△74.5	1	△99.2	22	△74.6
2019年5月期	3,870	3.5	170	△26.0	144	△26.8	89	△9.2

(注) 包括利益 2020年5月期 21百万円 (△75.6%) 2019年5月期 87百万円 (△10.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年5月期	4.73	—	2.2	0.0	1.4
2019年5月期	18.61	—	9.2	4.5	4.4

(注) 持分法投資損益 2020年5月期 一百万円 2019年5月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期	4,041	1,034	25.6	215.07
2019年5月期	3,143	1,013	32.2	210.60

(参考) 自己資本 2020年5月期 1,034百万円 2019年5月期 1,013百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年5月期	76	△289	861	1,721
2019年5月期	253	△45	△188	1,072

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年5月期の連結業績予想 (2020年6月1日~2021年5月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社 除外 1社 （社名）(株)新東京トレーディング
(注)詳細は、添付資料P. 7「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期	4,960,000株	2019年5月期	4,960,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期	149,500株	2019年5月期	149,500株
③ 期中平均株式数	2020年5月期	4,810,500株	2019年5月期	4,810,500株

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しておりました。しかしながら、消費税率引き上げや自然災害などの影響をはじめ、米中通商問題の長期化や世界経済情勢の不確実性に加え、新型コロナウイルス感染拡大により、国内における消費活動が一気に冷え込み、景気は後退局面に入りました。

このような経済状況の中、当社グループの主要顧客となる建設業界においては、企業設備投資が増加し、緩やかな回復基調で推移していくことが見込まれますが、新型コロナウイルス感染症による景気減速が懸念される中で、先行き不透明な状況であります。また、物流や建築資材をはじめとした各種コストの上昇や採用難による人手不足などにより、依然として厳しい経営環境が続くものと思われま

す。以上のような背景のもと、当連結会計年度における売上高は3,182,125千円(前年同期比17.8%減)、経常利益は1,204千円(前年同期比99.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は22,741千円(前年同期比74.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 環境プロデュース事業

環境プロデュース事業につきましては、売上高は2,586,644千円(前年同期比7.2%減)、セグメント利益は311,506千円(前年同期比15.7%減)となりました。

② 建設解体工事事業

建設解体工事事業につきましては、売上高は258,177千円(前年同期比20.7%減)、セグメント利益は11,294千円(前年同期は20,787千円のセグメント損失)となりました。

③ メタルマテリアル事業

メタルマテリアル事業につきましては、売上高は105,376千円(前年同期比84.0%減)、セグメント利益は3,482千円(前年同期は16,848千円のセグメント損失)となりました。

④ その他事業

その他事業につきましては、新エネルギー事業、復興事業、建材卸事業及び不動産賃貸業で構成されております。その他事業の売上高は484,826千円(前年同期比51.9%増)、セグメント損失は29,888千円(前年同期は58,900千円のセグメント利益)となりました。尚、その他事業の売上高のうち252,899千円については、セグメント間の内部売上であります。

（2）当期の財政状態の概況

資産負債及び純資産の状況

（流動資産）

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ531,649千円増加（28.1%増）し2,425,222千円となりました。これは主として、現金及び預金が648,643千円、未収入金が48,376千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が91,847千円、前渡金が76,500千円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ366,445千円増加（29.3%増）し1,616,175千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得及び減価償却等により有形固定資産が334,299千円、のれんが24,313千円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ188,309千円減少（14.8%減）し1,085,621千円となりました。これは主として、1年内償還予定の社債が200,000千円、支払手形及び買掛金が80,570千円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,064,906千円増加（124.4%増）し1,921,171千円となりました。これは主として、長期借入金が688,000千円、社債が400,000千円増加した一方で、リース債務が22,581千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ21,499千円増加（2.1%増）し、1,034,605千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が22,741千円増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,721,464千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は76,170千円となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益の計上69,461千円、減価償却費58,937千円、売上債権の減少額が94,500千円、前渡金の減少額76,500千円となり資金が流入した一方で、仕入債務の減少額が77,889千円、法人税等の支払額の計上41,790千円により資金が流出したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は289,084千円となりました。これは主として、有形・無形固定資産の取得による支出343,891千円の資金が流出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は861,556千円となりました。これは、長・短期借入金収支の純減少額が688,720千円、社債の発行による収入が400,000千円となり資金が流入した一方で、社債の償還による支出が200,000千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が27,163千円となり資金が流出したことによるものであります。

（キャッシュ・フロー指標の推移）

	2016年 5月期	2017年 5月期	2018年 5月期	2019年 5月期	2020年 5月期
自己資本比率（%）	21.1	25.7	27.9	32.2	25.6
時価ベースの自己資本比率（%）	58.9	58.9	59.4	62.7	48.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	640.5	281.8	258.2	584.9	3,109.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	6.0	15.6	18.6	9.1	2.6

（注） 1. 各指標の算出は以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己株主資本／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（4）今後の見通し

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難な状況です。今後、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,206,821	1,855,464
受取手形及び売掛金	408,381	316,533
仕掛品	5,420	2,523
前渡金	234,910	158,410
未収入金	19	48,396
その他	59,120	61,131
貸倒引当金	△21,100	△17,236
流動資産合計	1,893,572	2,425,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	911,198	998,159
減価償却累計額	△430,409	△447,440
建物及び構築物（純額）	480,789	550,719
機械装置及び運搬具	202,089	336,480
減価償却累計額	△155,339	△160,216
機械装置及び運搬具（純額）	46,750	176,264
土地	497,709	650,678
リース資産	148,635	141,432
減価償却累計額	△64,055	△76,563
リース資産（純額）	84,580	64,869
その他	27,774	40,231
減価償却累計額	△26,843	△37,701
その他（純額）	931	2,529
有形固定資産合計	1,110,760	1,445,060
無形固定資産		
のれん	—	24,313
その他	569	216
無形固定資産合計	569	24,529
投資その他の資産		
投資有価証券	11,601	10,419
差入保証金	14,170	10,727
投資不動産	70,000	70,000
繰延税金資産	18,303	2,686
その他	57,203	54,252
貸倒引当金	△32,879	△1,500
投資その他の資産合計	138,399	146,586
固定資産合計	1,249,729	1,616,175
資産合計	3,143,302	4,041,398

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当連結会計年度 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,092	290,522
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,720
1年内償還予定の社債	200,000	—
リース債務	23,614	23,214
未払法人税等	24,145	10,917
未払金	71,327	65,124
前受金	15,275	9,296
その他	48,475	165,825
流動負債合計	1,273,930	1,085,621
固定負債		
社債	—	400,000
長期借入金	760,000	1,448,000
リース債務	74,068	51,486
繰延税金負債	—	2,198
その他	22,197	19,485
固定負債合計	856,265	1,921,171
負債合計	2,130,196	3,006,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,600	86,600
資本剰余金	75,600	75,600
利益剰余金	897,276	920,018
自己株式	△49,335	△49,335
株主資本合計	1,010,141	1,032,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,964	1,721
その他の包括利益累計額合計	2,964	1,721
純資産合計	1,013,106	1,034,605
負債純資産合計	3,143,302	4,041,398

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
売上高	3,870,206	3,182,125
売上原価	3,355,969	2,716,397
売上総利益	514,236	465,728
販売費及び一般管理費	343,914	422,234
営業利益	170,321	43,494
営業外収益		
受取利息	23	25
受取配当金	387	418
安全協力収受金	180	381
受取保険金	—	2,076
売電収入	5,674	5,385
受取出向料	—	13,484
その他	1,162	5,424
営業外収益合計	7,428	27,197
営業外費用		
支払利息	25,989	27,841
社債利息	1,665	1,517
支払手数料	392	36,617
その他	5,700	3,511
営業外費用合計	33,747	69,487
経常利益	144,002	1,204
特別利益		
固定資産売却益	300	9,795
関係会社株式売却益	—	62,167
特別利益合計	300	71,963
特別損失		
固定資産除却損	90	3,706
固定資産売却損	626	—
ゴルフ会員権評価損	2,000	—
特別損失合計	2,716	3,706
税金等調整前当期純利益	141,585	69,461
法人税、住民税及び事業税	51,222	28,263
法人税等調整額	863	18,455
法人税等合計	52,086	46,719
当期純利益	89,499	22,741
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	89,499	22,741

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）	当連結会計年度 （自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）
当期純利益	89,499	22,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,559	△1,242
その他の包括利益合計	△1,559	△1,242
包括利益	87,939	21,499
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	87,939	21,499
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年6月1日 至 2019年5月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	86,600	75,600	807,777	△49,335	920,642
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			89,499		89,499
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	89,499	—	89,499
当期末残高	86,600	75,600	897,276	△49,335	1,010,141

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	4,524	4,524	925,166
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			89,499
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	△1,559	△1,559	△1,559
当期変動額合計	△1,559	△1,559	87,939
当期末残高	2,964	2,964	1,013,106

当連結会計年度（自 2019年6月1日 至 2020年5月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	86,600	75,600	897,276	△49,335	1,010,141
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			22,741		22,741
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	22,741	—	22,741
当期末残高	86,600	75,600	920,018	△49,335	1,032,883

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	2,964	2,964	1,013,106
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			22,741
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	△1,242	△1,242	△1,242
当期変動額合計	△1,242	△1,242	21,499
当期末残高	1,721	1,721	1,034,605

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	141,585	69,461
減価償却費	87,692	58,937
支払利息及び社債利息	27,654	29,359
固定資産売却益	—	△9,795
固定資産売却損	626	—
固定資産除却損	90	3,706
関係会社株式売却損	—	△62,167
ゴルフ会員権評価損	2,000	—
売上債権の増減額（△は増加）	57,195	94,500
たな卸資産の増減額（△は増加）	13,503	2,951
前渡金の増減額（△は増加）	94,500	76,500
未収入金の増減額（△は増加）	3,392	△26,389
仕入債務の増減額（△は減少）	△82,211	△77,889
その他流動資産の増減額（△は増加）	△28,268	△45,240
その他流動負債の増減額（△は減少）	22,808	62,071
その他	1,014	△30,768
小計	341,573	145,236
利息の支払額	△27,502	△27,720
法人税等の支払額	△61,440	△41,790
その他	410	444
営業活動によるキャッシュ・フロー	253,040	76,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形・無形固定資産の取得による支出	△44,903	△343,891
敷金・保証金の差入による支出	△649	△177
敷金・保証金の回収による収入	168	3,491
連結の範囲を伴う子会社株式の取得による収入	—	21,483
連結の範囲を伴う子会社株式の売却による収入	—	15,205
その他	10	14,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,375	△289,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△500,000
長期借入金による収入	—	1,940,000
長期借入金の返済による支出	△120,000	△1,251,280
社債の発行による収入	—	400,000
社債の償還による支出	△10,000	△200,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△58,342	△27,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△188,342	861,556
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	19,322	648,643
現金及び現金同等物の期首残高	1,053,498	1,072,821
現金及び現金同等物の期末残高	1,072,821	1,721,464

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結累計期間における重要な子会社の異動)

2019年6月3日付で、当社の特定子会社であった株式会社新東京トレーディングの全株式を譲渡したため、当連結会計年度より連結範囲から除外しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱うサービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、サービスの性質及びサービスの提供方法を考慮して分類し、「環境プロデュース事業」、「メタルマテリアル事業」、「建設解体工事業」の3つの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「環境プロデュース事業」は主に、廃棄物の収集運搬・中間処理から徹底した再資源化を図り、事業者における廃棄物の排出抑制やリサイクルに関する総合的な提案等を行っております。

「メタルマテリアル事業」は主に、解体発生屑、工場発生屑、市中老廃屑など鉄製品の主原料となる鉄スクラップを仕入れ、商社を通じて高炉、電炉メーカーへ安定供給しております。また、国内で発生したアルミ屑、ステンレス屑、銅屑などの非鉄スクラップは取引先を經由し国内販売あるいは海外へ輸出しております。

「建設解体工事業」は主に、木造建築物やビル・マンションなどの建築物の解体工事等を行っております。

従来、報告セグメントとして開示しておりました「新エネルギー事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し、「その他」に含めております。

なお、前連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースであります。また、セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	環境プロ デュース 事業	メタルマ テリアル 事業	建設解体 工事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,786,822	658,922	325,553	3,771,297	98,908	—	3,870,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	220,320	△220,320	—
計	2,786,822	658,922	325,553	3,771,297	319,228	△220,320	3,870,206
セグメント利益又は損 失 (△)	369,376	△16,848	△20,787	331,740	58,900	△220,320	170,321
セグメント資産	1,613,264	31,562	61,596	1,706,424	123,915	1,312,962	3,143,302
その他の項目							
減価償却費	56,200	29,564	1,128	86,893	799	—	87,692
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	17,005	65	—	17,071	155	—	17,226

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新エネルギー事業、建材卸事業及び不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	環境プロ デュース 事業	メタルマ テリアル 事業	建設解体 工事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,586,644	105,376	258,177	2,950,199	231,926	—	3,182,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	252,899	△252,899	—
計	2,586,644	105,376	258,177	2,950,199	484,826	△252,899	3,182,125
セグメント利益又は損 失 (△)	311,506	3,482	11,294	326,282	△29,888	△252,899	43,494
セグメント資産	1,943,194	13,940	2,932	1,960,067	92,474	1,988,856	4,041,398
その他の項目							
減価償却費	54,291	61	954	55,307	3,630	—	58,937
のれんの償却額	2,210	—	—	2,210	7,895	—	10,105
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	397,721	7	1,438	399,168	9,294	—	408,463

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新エネルギー事業、復興事業、建材卸事業及び不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

（1株当たり情報）

項目	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり純資産額	210円60銭	215円07銭
1株当たり当期純利益金額	18円61銭	4円73銭

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)	当連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	89,499	22,741
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	89,499	22,741
普通株式の期中平均株式数（株）	4,810,500	4,810,500

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 2019年5月31日	当連結会計年度 2020年5月31日
純資産の部の合計額（千円）	1,013,106	1,034,605
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	—	—
（うち非支配株主持分）（千円）	（—）	（—）
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,013,106	1,034,605
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	4,810,500	4,810,500

（重要な後発事象）

該当事項はありません。